

地域産学連携センターだより第7号

事務局 研究・地域産学連携担当
内線 2152 E-mail edec@spu.ac.jp

皆さん、「大学と企業が共同で新製品を開発」といったニュースを見聞きしたことはありませんか？
大学や企業、さらには県や市町村といった行政が連携して研究、開発などを行う「**産官学連携**※」の取組が全国的に増えています。※一般的には「産学官連携」を使うことが多いですが、本号では「産官学連携」で統一します。

「教育」、「研究」と並ぶ大学の第三の使命として「社会貢献」がありますが、研究成果の事業化や技術移転といった産官学連携の取組は、大学による社会貢献の一形態として社会からも大きく注目されており、本学でも積極的に取り組んでいます。

産官学連携の意義

産（企業）、官（行政）、学（大学）それぞれに様々なメリットがあります。

◆『企業』のメリット

研究開発を行い新たな製品や技術を世に出すに当たり、大学の研究者と連携し、設備等を活用してスピーディーに研究開発を進めることができます。

◆『行政』のメリット

行政が大学と企業を結びつけたり、大学に資金を提供することで、地域・社会の課題解決、発展につながります。

◆『大学』のメリット

企業等との共同研究により「新製品」などの形で研究成果を社会に発表・還元できます。また研究費の調達や、事業に学生を参加させることによる教育や人材育成の観点からのメリットも期待できます。

マッチングイベント

◆大規模シーズマッチングイベントに出展し、企業や行政とのマッチングを目指しています。

企業や行政とのマッチングの機会として、本学の教員が保有している特許や研究シーズを各イベントに出展しています。

2023年8月に東京ビックサイトで開催された国内最大級の産学連携マッチングイベント「大学見本市 2023～イノベーション

・ジャパン（主催：科学技術振興機構（JST））」に**作業療法学科の小池祐士助教の「リハビリテーション学生のための運動療法技術教育ロボットアーム」**を出展しました。

また、さいたまスーパーアリーナで行われた2つのイベントにも参加しました。

2023年6月開催「さいしんビジネスフェア（主催：埼玉縣信用金庫）」に**看護学科の國澤尚子教授の施設用補助具「立位サポート」**を出展。國澤先生が学生時代に片麻痺の患者さんのトイレ介助を見学して以来、安全で負担の少ない手すりが必要だと考えており、手すりメーカーであるナカ工業株式会社との6年間の共同研究の末、開発しました。（2020年7月より製品販売開始）



2023年2月開催「彩の国ビジネスアリーナ 2023（主催：埼玉県、埼玉県産業振興公社等）」には、**研究開発センターの久保田圭祐 特任助教「リハビリテーション支援ロボットの開発」**を出展しました。

各イベントの様子やシーズの詳細は、本学ホームページやシーズ集でご確認ください。



本学の産官学連携の取組

企業等と本学の研究者がマッチングすると、産官学連携がスタートします。本学では、企業の研究者と共同で行う「**共同研究**」、依頼された特定のテーマについて行う「**受託研究**」、専門的アドバイスや企業向け研修などを行う「**特定講座**」の3つの取り組みがあります。

共同研究・特定講座についての具体的な取組をご紹介します。

共同研究

◆子供向けカーボンインソールが製品販売

理学療法学科 国分貴徳准教授と株式会社 UCHIDA との2年間の共同研究の成果が「子ども向けカーボンインソール『BAKUSOLE (バクソール)』」として株式会社 UCHIDA より商品化されました。7月よりクラウドファンディングにて販売開始されています。

これまでの製品開発の経緯、商品の紹介等を株式会社 UCHIDA のホームページより紹介しております。

是非、ご覧ください。



特定講座

◆武蔵野銀行と共同でイベントを開催

理学療法学科 菊本東陽准教授が銀行の



待ち時間に手軽にできる体操を」という武蔵野銀行からの依頼をもとに「笑顔

はつらつ健康体操」を考案・開発しました。

この体操を、昨年度から武蔵野銀行本店（さいたま市）で体操教室としてシリーズ開催しています。今年4月に「認知症予防」にフォーカスして開催した他、隔月で開催し、毎回20名を超える地域の皆様に参加していただいております。

産官学連携に向けて、本学独自に研究成果や研究シーズの発信も行っています。

◆研究成果や知識・技術を「シーズ集」として発行

企業等との連携には、本学の研究成果や知識・技術を企業等に知ってもらわなければなりません。そこで、教員の研究テーマや活動を1冊にまとめた「研究・地域活動シーズ集」を発行しています。

HPでも閲覧できます。是非、ご覧ください。



埼玉県立大学 研究 シーズ

検索

◆企業を対象に本学教員がレクチャー

2022年12月実施の「大学シーズマッチング会 in 埼玉県立大学」（主催：(公財)埼玉県産業振興公社）において、10名の教員が企業等に対し、オンデマンド（期間限定）にて“自身の研究・技術”を発表しました。終了後には、4社から共同研究の相談が寄せられ、次なるステップへ展開しています。

【講演者一覧 2022.12】

- ・山田恵子准教授（共通）
- ・林裕栄教授（看護）
- ・金村尚彦教授（理学）
- ・小栢進也准教授（理学）
- ・木戸聡史准教授（理学）
- ・清水新悟助教（理学）
- ・久保田富夫教授（作業）
- ・小川孔美准教授（社福）
- ・矢野哲也准教授（検査）
- ・久保田チエコ助教（口腔）

第7号では本学の産官学連携の取組を取り上げました。ご紹介できた研究等はわずかですが、多くの先生が様々なテーマで共同研究や受託研究に取り組んでいます。

ご覧いただいた感想、これから取り上げてもらいたい事柄など、是非ご意見をお寄せください。